

# 但馬管内の景気動向調査

2018年1～3月期実績・2018年4～6月期見通し

【特別調査 経営者の健康管理と事業の継続について】

## 調査の概要

1. 回答数：452（前回：530）
2. 分析方法：ディフュージョン・インデックス（D.I.）  
景気の各項目事項について、良いと感じている企業の割合から悪いと感じている企業の割合を引いたもの。

# 1. 概況 (回答数 452 前回 530)

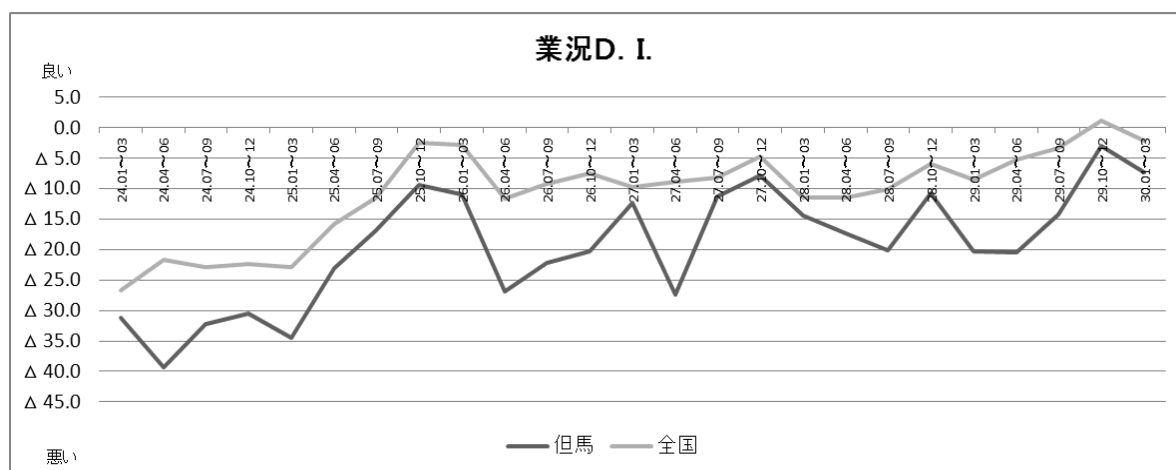
今回(1月～3月期)のD.I.は、全項目でマイナスとなった。特に、売上額D.I.収益D.I.は前四半期比で大きく悪化している。また、人手過不足D.I.は大きくマイナスが続いており、全業種共通の大きな経営課題となっている。次回(4月～6月)四半期予想でも、人手過不足D.I.については厳しい状況に変わりなく、それ以外の項目についても軒並み悪化を予想している。

全体	2018年1～3月期実績	前四半期比	2018年4～6月期予想
業況D. I.	△ 7.3	△ 4.3	△ 21.7
前年同期比売上額D. I.	△ 3.1	△ 1.8	-
前年同期比収益D. I.	△ 9.3	△ 4.7	-
売上額D. I.	△ 3.1	△ 21.0	△ 11.2
収益D. I.	△ 6.5	△ 16.3	△ 14.2
資金繰りD. I.	△ 14.7	△ 1.5	△ 17.3
借入金の難易度D. I.	△ 5.0	1.7	-
前期比残業時間D. I.	△ 0.4	△ 4.6	△ 6.5
人手過不足D. I.	△ 29.6	△ 1.1	△ 26.9

業種名 \ 時期	2017年 10～12月	2018年 1～3月	2018年 4～6月(見通し)
総合			
製造業			
建設業			
卸売業			
小売業			
不動産業			
サービス業			

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調 ← → 低調



## 2. 製造業（回答数 81 前回 93）

今回の調査で業況 D.I. は△7.4 ポイントとなり、前四半期比で 21.5 ポイント悪化した。要因は、売上額 D.I.、受注残 D.I.、収益 D.I. 各々の項目で前四半期比大幅に悪化したことにある。設備投資 D.I. 来期設備投資 D.I. は 40 ポイントを超えるプラス水準となっており、製造業については設備投資に前向きな姿勢が伺える。

4月～6月期予想では、売上高 D.I. は改善が見込まれるが、引続き受注残 D.I.、人手過不足 D.I. が悪化することが予想され、業況 D.I. では△25.9 ポイントまで悪化する見通しである。

製造業	2018年1～3月期実績	前四半期比	2018年4～6月期予想
業況D.I.	△ 7.4	△ 21.5	△ 25.9
前年同期比売上額D.I.	△ 1.2	△ 7.8	-
前年同期比収益D.I.	△ 1.2	△ 5.6	-
売上額D.I.	△ 14.8	△ 35.2	△ 4.9
受注残D.I.	△ 11.1	△ 31.5	△ 14.8
収益D.I.	△ 16.0	△ 26.8	△ 4.9
販売価格D.I.	12.5	1.6	6.2
原材料価格D.I.	39.5	2.5	27.2
原材料在庫D.I.	1.2	△ 3.1	2.5
資金繰りD.I.	△ 7.4	△ 4.2	△ 9.9
借入金の難易度D.I.	12.3	3.7	-
前期比残業時間D.I.	1.2	△ 16.0	△ 1.2
人手過不足D.I.	△ 30.9	7.2	△ 33.3
現在の設備D.I.	△ 22.2	1.7	-
設備投資D.I.	40.7	3.1	-
来期設備投資D.I.	48.1	17.0	-

## 3. 建設業（回答数 90 前回 99）

今回の調査で業況 D.I. は△6.7 ポイントとなり、前四半期比 5.6 ポイント悪化した。前四半期比で売上額 D.I.、受注残 D.I.、施工高 D.I.、収益 D.I. が悪化していることが要因である。また、前年同期比でも売上額 D.I.、収益 D.I. は下振れしている。

4月～6月期予想では、売上額 D.I.、受注残 D.I.、施工高 D.I.、資金繰り D.I.、人手過不足 D.I. は引き続き悪化が予想され、業況 D.I. は△20.5 ポイントに悪化する見通しとなっている。

建設業	2018年1～3月期実績	前四半期比	2018年4～6月期予想
業況D.I.	△ 6.7	△ 5.6	△ 20.5
前年同期比売上額D.I.	7.9	△ 0.3	-
前年同期比収益D.I.	△ 6.7	△ 8.8	-
売上額D.I.	1.1	△ 12.0	△ 5.6
受注残D.I.	1.1	△ 6.0	△ 13.6
施工高D.I.	△ 1.1	△ 8.2	△ 8.0
収益D.I.	△ 10.2	△ 12.2	△ 13.6
請負価格D.I.	△ 4.4	△ 3.4	△ 5.7
材料価格D.I.	18.0	△ 2.2	18.2
在庫D.I.	△ 6.8	△ 3.8	△ 6.9
資金繰りD.I.	△ 13.3	△ 13.3	△ 13.5
借入金の難易度D.I.	2.4	9.6	-
前期比残業時間D.I.	1.1	5.2	△ 10.2
人手過不足D.I.	△ 30.0	1.3	△ 36.0
現在の設備D.I.	△ 10.1	8.1	-
設備投資D.I.	28.9	△ 1.4	-
来期設備投資D.I.	28.9	△ 0.4	-

## 4. 卸売業（回答数 55 前回 59）

今回の調査で業況 D.I. が△21.8 ポイントとなり、前四半期比 9.3 ポイント悪化した。要因は、売上額 D.I.、収益 D.I. が大幅に悪化したことによるものである。一方、販売価格 D.I. については 4.3 ポイント改善となった。

4月～6月期予想では、引続き売上額 D.I.、収益 D.I.、資金繰り D.I.、人手過不足 D.I. でマイナスを見込むものの、マイナス幅は改善が予想され、業況 D.I. は△23.6 と現状程度を維持する見通しとなっている。

卸売業	2018年1～3月期実績	前四半期比	2018年4～6月期予想
業況D.I.	△ 21.8	△ 9.3	△ 23.6
前年同期比売上額D.I.	△ 23.6	△ 1.2	-
前年同期比収益D.I.	△ 25.5	△ 6.8	-
前年同期比販売価格D.I.	14.5	11.2	-
売上額D.I.	△ 20.0	△ 25.1	△ 12.7
収益D.I.	△ 25.5	△ 37.5	△ 20.4
販売価格D.I.	12.7	4.3	5.5
仕入価格D.I.	23.6	△ 5.2	12.7
在庫D.I.	9.1	0.6	3.6
資金繰りD.I.	△ 7.3	9.7	△ 5.5
借入金の難易度D.I.	△ 9.1	1.3	-
前期比残業時間D.I.	△ 5.5	△ 2.1	△ 7.3
人手過不足D.I.	△ 20.0	△ 1.4	△ 10.9
現在の設備D.I.	△ 5.5	8.1	-
設備投資D.I.	30.9	△ 1.3	-
来期設備投資D.I.	29.1	△ 1.4	-

## 5. 小売業（回答数 68 前回 81）

今回の調査で業況 D.I. が△23.9 ポイントとなり、前四半期比 2.6 ポイント悪化した。前四半期比で売上額 D.I. は 29.7 ポイント、収益 D.I. は 19.3 ポイント、在庫 D.I. は 13.8 ポイント、資金繰り D.I. は 10.0 ポイント、人手過不足 D.I. は 16.0 ポイントがそれぞれ悪化した。

4月～6月期予想では、資金繰り D.I.、人手過不足 D.I. は若干改善するものの、売上額 D.I. は引続き悪化する見通しであり、業況 D.I. は△41.8 ポイントの悪化の見通しとなっている。

小売業	2018年1～3月期実績	前四半期比	2018年4～6月期予想
業況D.I.	△ 23.9	△ 2.6	△ 41.8
前年同期比売上額D.I.	△ 30.9	△ 17.3	-
前年同期比収益D.I.	△ 35.3	△ 18.0	-
前年同期比販売価格D.I.	13.2	2.0	-
売上額D.I.	△ 22.1	△ 29.7	△ 25.4
収益D.I.	△ 20.6	△ 19.3	△ 19.7
販売価格D.I.	13.2	2.1	△ 7.5
仕入価格D.I.	23.5	△ 3.6	6.0
在庫D.I.	△ 1.5	△ 13.8	0.0
資金繰りD.I.	△ 47.1	△ 10.0	△ 41.8
借入金の難易度D.I.	△ 19.7	△ 4.9	-
前期比残業時間D.I.	3.0	7.9	△ 6.0
人手過不足D.I.	△ 28.4	△ 16.0	△ 26.9
現在の設備D.I.	△ 20.9	△ 11.0	-
設備投資D.I.	30.9	1.3	-
来期設備投資D.I.	33.8	△ 2.0	-

## 6. 不動産業（回答数 12 前回 18）

今回の調査で業況 D.I. は 25.0 ポイントとなり、前四半期比 19.4 ポイント改善した。要因は、売上高 D.I.、収益 D.I.、販売価格 D.I. の小幅の改善に加え、仕入価格 D.I.、借入金難易度 D.I. の大幅改善によるものである。

4月～6月期予想では、引き続き販売価格 D.I.、人手過不足 D.I. は低調推移が予想され、在庫 D.I. は悪化が予想されることから、業況 D.I. では現在より悪化の見通しとなっている。

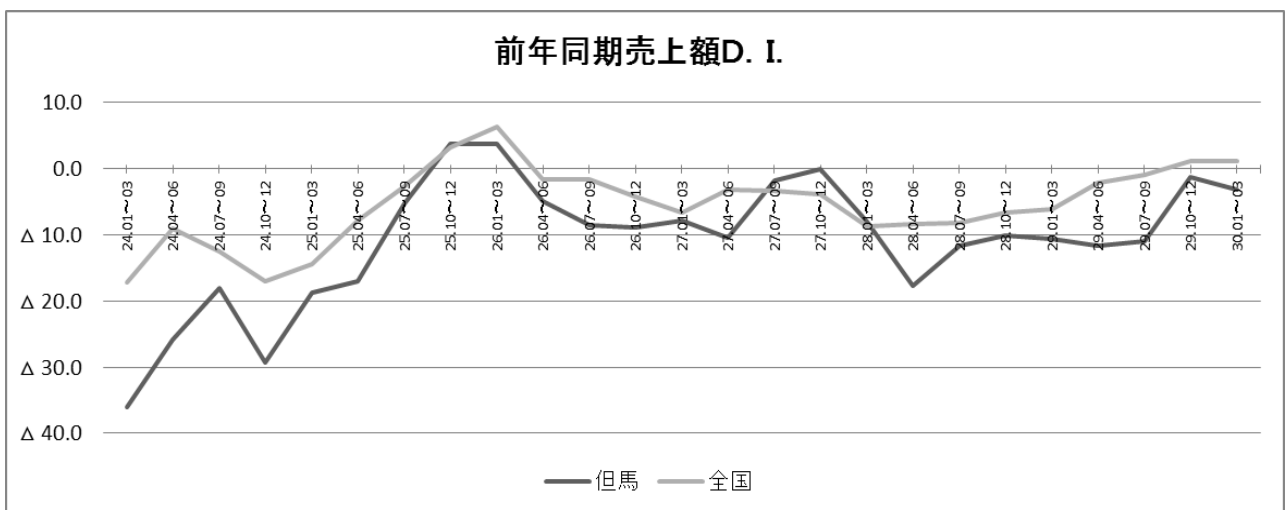
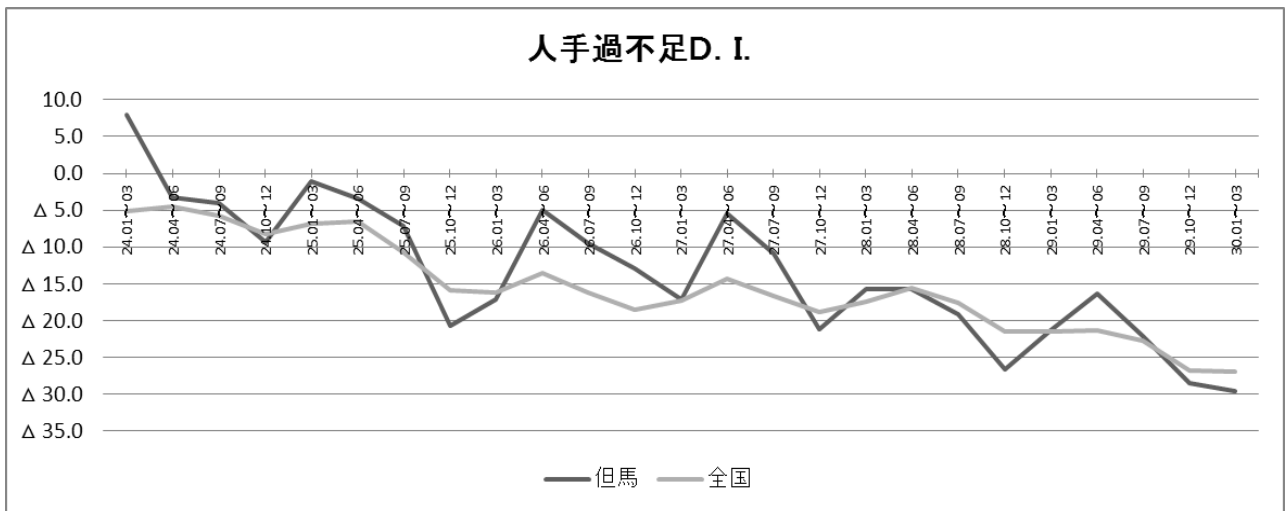
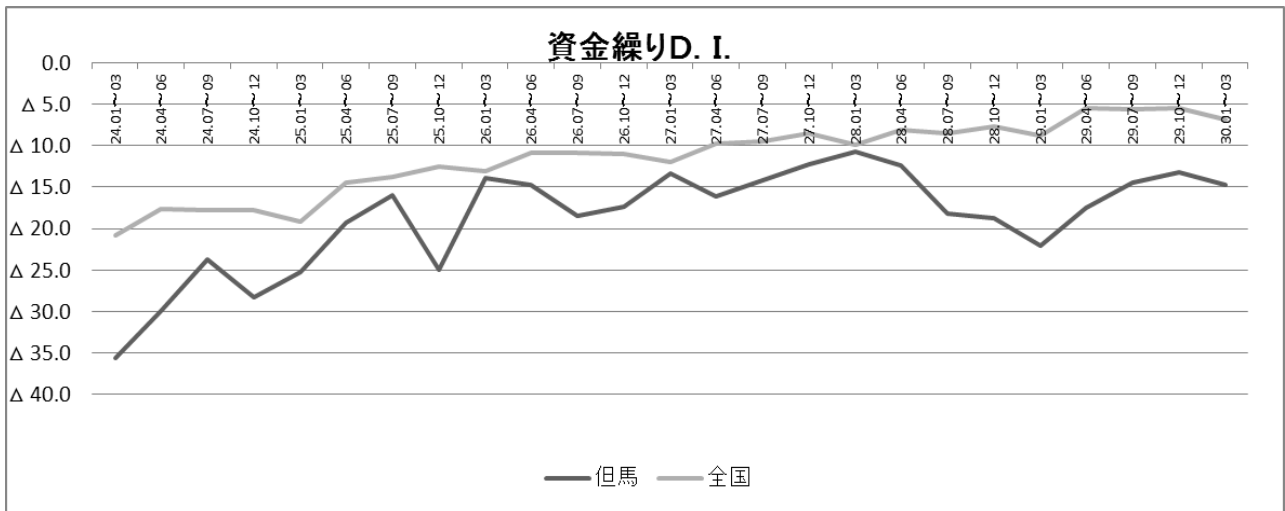
不動産業	2018年1～3月期実績	前四半期比	2018年4～6月期予想
業況D.I.	25.0	19.4	16.7
前年同期比売上額D.I.	8.3	25.0	-
前年同期比収益D.I.	8.3	30.6	-
売上額D.I.	8.3	2.8	8.3
収益D.I.	8.3	2.8	8.3
販売価格D.I.	△ 8.3	3.4	△ 8.3
仕入価格D.I.	0.0	11.8	8.3
在庫D.I.	△ 8.3	△ 2.5	△ 25.0
資金繰りD.I.	0.0	△ 5.6	8.3
借入金の難易度D.I.	0.0	11.1	-
前期比残業時間D.I.	8.3	2.8	0.0
人手過不足D.I.	△ 25.0	△ 19.4	△ 25.0

## 7. サービス業（回答数 146 前回 180）

今回の調査で業況 D.I. が 2.8 ポイントとなり、前四半期比 5.6 ポイント改善した。要因は、前四半期比、売上額 D.I.、収益 D.I. は悪化したものの、材料価格 D.I.、資金繰り D.I. が改善した事によるもの。

4月～6月期予想は、売上額 D.I.、収益 D.I.、資金繰り D.I.、人手過不足 D.I. がそれぞれ現状より悪化が予想され、これにより業況 D.I. は△13.2 と悪化する見通しとなっている。

サービス業	2018年1～3月期実績	前四半期比	2018年4～6月期予想
業況D.I.	2.8	5.6	△ 13.2
前年同期比売上額D.I.	8.9	5.6	-
前年同期比収益D.I.	1.4	1.9	-
売上額D.I.	15.2	△ 14.0	△ 12.6
収益D.I.	13.8	△ 4.5	△ 16.8
料金価格D.I.	6.9	△ 4.8	△ 4.2
材料価格D.I.	30.5	6.6	9.2
資金繰りD.I.	△ 8.4	7.3	△ 19.0
借入金の難易度D.I.	△ 11.3	△ 2.2	-
前期比残業時間D.I.	△ 2.8	△ 11.1	△ 7.5
人手過不足D.I.	△ 33.1	1.5	△ 24.0
現在の設備D.I.	△ 26.2	△ 3.9	-
設備投資D.I.	24.7	△ 5.9	-
来期設備投資D.I.	28.8	2.7	-



業種別DI等の推移表

製造業	前年同期に比べて										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	収益	販売価格	原材料価格	原材料在庫	資金繰り					
29.01~03	7.8	6.3	△ 5.1	1.3	△ 1.3	3.8	2.6	27.8	11.4	△ 2.5	10.1	△ 33.3	5.1	△ 24.1	40.5
29.04~06	△ 11.5	2.9	1.0	△ 14.4	△ 12.5	△ 11.5	△ 5.8	19.4	9.7	△ 4.8	△ 8.7	△ 18.4	9.8	△ 17.5	39.4
29.07~09	△ 3.7	15.0	7.5	0.0	△ 7.4	△ 3.7	3.7	22.2	△ 3.7	△ 2.4	13.4	△ 32.1	0.0	△ 11.4	53.3
29.10~12	14.1	6.5	4.3	20.4	20.4	10.8	10.9	37.0	4.3	△ 3.2	17.2	△ 38.0	8.6	△ 23.9	37.6
30.01~03	△ 7.4	△ 1.2	△ 1.2	△ 14.8	△ 11.1	△ 16.0	12.5	39.5	1.2	△ 7.4	1.2	△ 30.9	12.3	△ 22.2	40.7
30.04~06	△ 25.9														

建設業	前年同期に比べて										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合	
	業況	売上額	収益	売上額	受注残	施行高	収益	請負価格	材料価格	在庫						
29.01~03	△ 31.2	△ 15.8	△ 20.8	△ 31.2	△ 26.7	△ 23.4	△ 28.6	△ 14.3	13.2	△ 2.6	△ 31.2	3.9	△ 14.5	△ 11.0	△ 17.1	28.6
29.04~06	△ 16.5	△ 10.9	△ 10.9	△ 9.1	△ 12.7	△ 4.6	△ 10.0	△ 2.7	17.3	△ 1.8	△ 10.9	△ 4.5	△ 20.0	△ 5.5	△ 16.4	32.7
29.07~09	△ 6.9	△ 13.9	△ 12.9	△ 7.0	△ 4.0	0.0	△ 3.9	△ 4.9	10.8	1.0	△ 9.8	△ 2.9	△ 21.6	△ 7.0	△ 8.9	28.4
29.10~12	△ 1.0	8.2	2.0	13.1	7.1	7.1	2.0	△ 1.0	20.2	△ 3.1	0.0	△ 4.0	△ 31.3	△ 7.2	△ 18.2	30.3
30.01~03	△ 6.7	7.9	△ 6.7	1.1	1.1	△ 1.1	△ 10.2	△ 4.4	18.0	△ 6.8	△ 13.3	1.1	△ 30.0	2.4	△ 10.1	28.9
30.04~06	△ 20.5															

卸売業	前年同期に比べて										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り					
29.01~03	△ 41.7	△ 43.2	△ 29.7	0.0	△ 37.8	△ 37.8	2.7	10.8	10.8	△ 35.1	△ 10.8	△ 22.2	△ 10.8	5.4	29.7
29.04~06	△ 30.9	△ 19.1	△ 26.5	16.2	△ 26.5	△ 22.1	14.7	16.2	13.2	△ 13.2	△ 3.0	△ 4.4	△ 2.9	△ 1.5	29.4
29.07~09	△ 32.1	△ 24.5	△ 26.4	5.7	△ 18.9	△ 30.2	5.7	17.0	3.8	△ 18.9	0.0	△ 5.7	△ 11.3	1.9	32.1
29.10~12	△ 12.5	△ 22.4	△ 18.6	3.4	5.1	12.1	8.5	28.8	8.5	△ 16.9	△ 3.4	△ 18.6	△ 10.3	△ 13.6	32.2
30.01~03	△ 21.8	△ 23.6	△ 25.5	14.5	△ 20.0	△ 25.5	12.7	23.6	9.1	△ 7.3	△ 5.5	△ 20.0	△ 9.1	△ 5.5	30.9
30.04~06	△ 23.6														

小売業	前年同期に比べて										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	販売価格	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り					
29.01~03	△ 42.6	△ 25.9	△ 29.6	3.7	△ 22.2	△ 29.6	3.7	14.8	3.7	△ 42.6	△ 13.0	△ 14.8	△ 14.8	△ 9.4	18.5
29.04~06	△ 38.6	△ 28.9	△ 25.3	3.6	△ 42.2	△ 37.3	1.2	8.4	8.5	△ 37.8	△ 4.8	△ 22.0	△ 12.7	△ 4.8	21.7
29.07~09	△ 39.3	△ 36.1	△ 29.5	6.6	△ 16.1	△ 16.1	4.8	8.1	△ 1.6	△ 29.5	△ 9.8	△ 16.7	△ 16.4	△ 6.6	29.0
29.10~12	△ 21.3	△ 13.6	△ 17.3	11.3	7.6	△ 1.3	11.1	27.2	12.3	△ 37.0	△ 4.9	△ 12.3	△ 14.8	△ 9.9	29.6
30.01~03	△ 23.9	△ 30.9	△ 35.3	13.2	△ 22.1	△ 20.6	13.2	23.5	△ 1.5	△ 47.1	3.0	△ 28.4	△ 19.7	△ 20.9	30.9
30.04~06	△ 41.8														

不動産業	前年同期に比べて										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度
	業況	売上額	収益	売上額	収益	販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り				
29.01~03	14.3	0.0	16.7	0.0	14.3	△ 14.3	0.0	16.7	42.9	14.3	△ 14.3	0.0	
29.04~06	11.8	0.0	0.0	△ 6.3	△ 6.3	△ 6.3	△ 6.7	0.0	5.9	5.9	△ 11.8	△ 6.7	
29.07~09	6.3	0.0	△ 12.5	12.5	6.3	△ 13.3	△ 6.7	△ 6.7	△ 12.5	0.0	△ 25.0	△ 6.7	
29.10~12	5.6	△ 16.7	△ 22.2	5.6	5.6	△ 11.8	△ 11.8	△ 5.9	5.6	5.6	△ 5.6	△ 11.1	
30.01~03	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	△ 8.3	0.0	△ 8.3	0.0	8.3	△ 25.0	0.0	
30.04~06	16.7												

サービス業	前年同期に比べて										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
	業況	売上額	収益	売上額	収益	料金価格	材料価格	資金繰り							
29.01~03	△ 15.8	0.0	1.1	△ 12.8	△ 13.7	3.2	20.2	△ 19.1	1.1	△ 21.1	△ 16.3	△ 14.9	28.4		
29.04~06	△ 18.9	△ 11.0	△ 14.7	△ 29.3	△ 34.0	△ 7.0	11.0	△ 23.2	△ 9.4	△ 15.2	△ 8.6	△ 20.1	25.7		
29.07~09	△ 10.2	△ 8.8	△ 19.0	13.1	8.0	0.7	12.4	△ 16.9	△ 5.9	△ 25.0	△ 9.6	△ 20.4	21.9		
29.10~12	△ 2.8	3.3	△ 0.6	29.2	18.3	11.7	23.9	△ 15.6	8.4	△ 34.6	△ 9.1	△ 22.3	30.6		
30.01~03	2.8	8.9	1.4	15.2	13.8	6.9	30.5	△ 8.4	△ 2.8	△ 33.1	△ 11.3	△ 26.2	24.7		
30.04~06	△ 13.2														

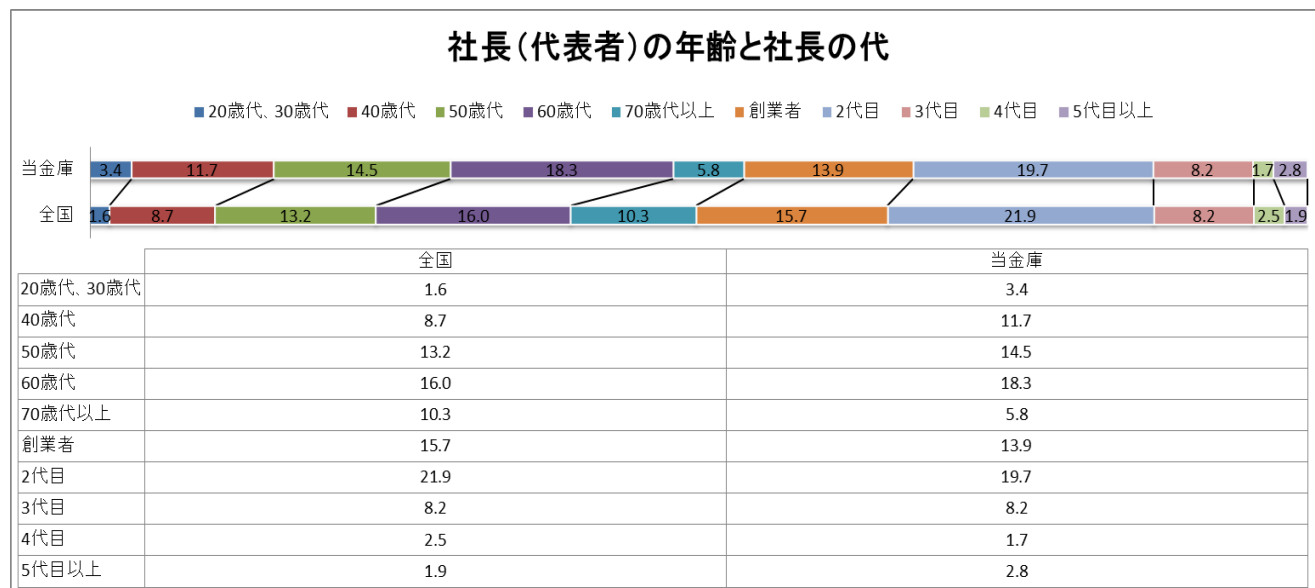
全業種	前年同期に比べて										前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度
	業況	売上額	収益	売上額	収益	資金繰り							
29.01~03	△ 20.2	△ 10.7	△ 13.0	△ 17.2	△ 17.5	△ 22.1	0.6	△ 21.4	△ 9.1				
29.04~06	△ 20.5	△ 11.7	△ 13.6	△ 23.6	△ 23.6	△ 17.5	△ 6.5	△ 16.3	△ 4.5				
29.07~09	△ 14.2	△ 10.9	△ 15.0	△ 1.6	△ 4.6	△ 14.4	△ 1.3	△ 22.1	△ 8.4				
29.10~12	△ 3.1	△ 1.3	△ 4.6	17.9	9.9	△ 13.2	4.2	△ 28.4	△ 6.7				
30.01~03	△ 7.3	△ 3.1	△ 9.3	△ 3.1	△ 6.5	△ 14.7	△ 0.4	△ 29.6	△ 5.0				
30.04~06	△ 21.7												

全国	前年同期に比べて				
	業況	売上額	収益	資金繰り	人手
29.01~03	△ 8.5	△ 6.1	△ 8.3	△ 8.8	△ 21.5
29.04~06	△ 5.3	△ 2.2	△ 3.8	△ 5.5	△ 21.3
29.07~09	△ 3.3	△ 0.9	△ 3.3	△ 5.6	△ 22.7
29.10~12	1.2	1.1	△ 2.6	△ 5.4	△ 26.7
30.01~03	△ 2.1	1.2	△ 4.4	△ 6.8	△ 26.9
30.04~06	△ 0.3				

## 《特別調査》 「経営者の健康管理と事業の継続について」

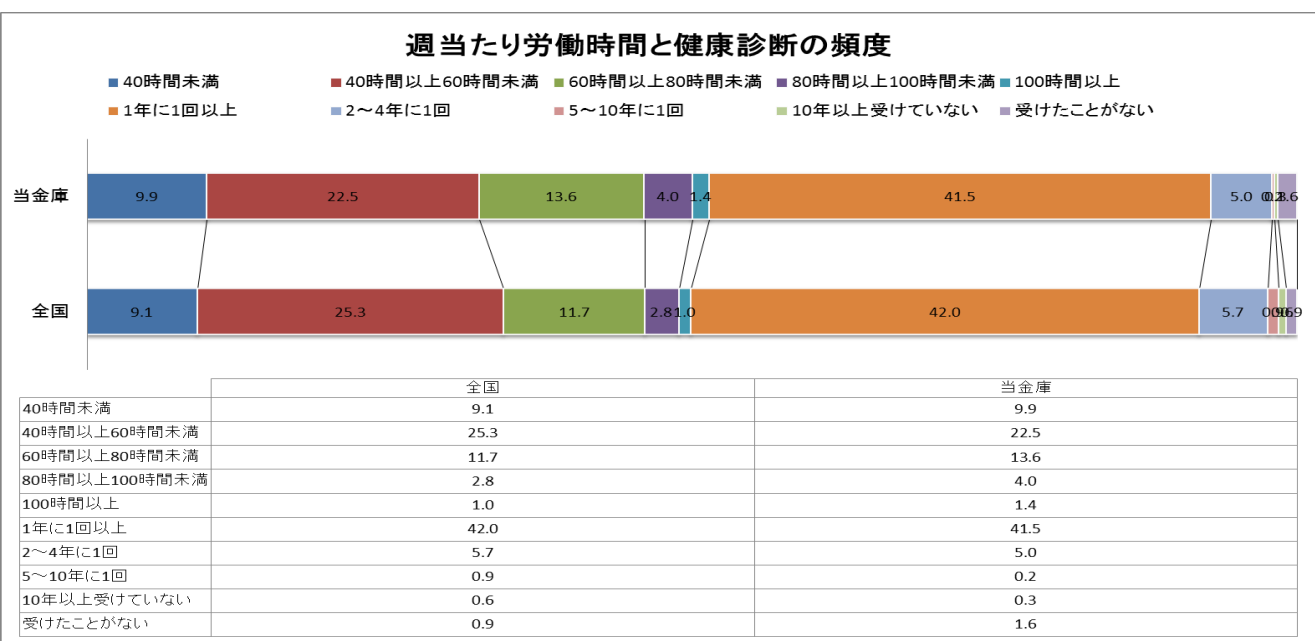
### 【問1】社長（代表者）の年齢と社長の代

当庫平均によると、社長の年齢でもっとも割合が高いゾーンは60歳代の18.3%(全国平均16.0%)であり、次いで50歳代、40歳代となりともに全国平均を上回る。一方で70歳代以上の割合では全国平均を下回っている。また、社長の代については、創業者が13.9%(全国平均15.7%)、2代目が19.7%(全国平均21.9%)とともに全国平均を若干下回るが、ほかの代では全国平均と比べても大きな違いはない。



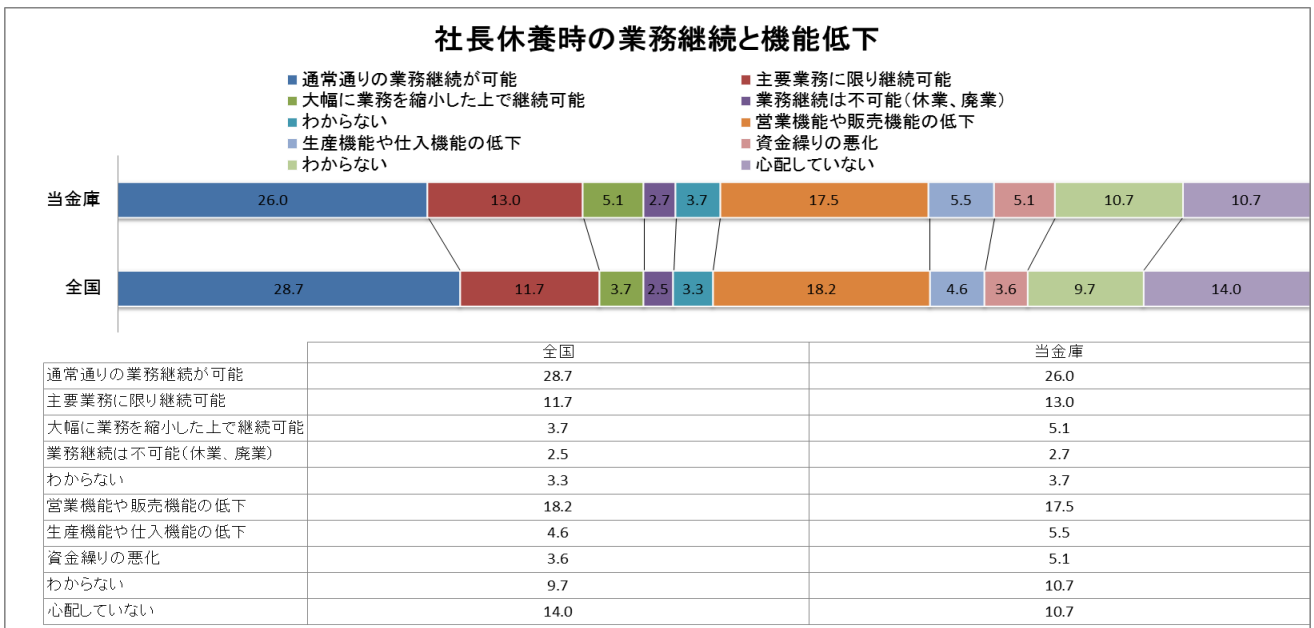
### 【問2】週当たり労働時間と健康診断の頻度

週当たりの労働時間では、60時間以上80時間未満13.6%(全国平均11.7%)、80時間以上100時間未満4.0%(全国平均2.8%)、100時間以上1.4%(全国平均1.0%)と全国平均に比べ社長の労働時間が長いことが伺われる。また、健康診断の頻度については、1年に1回以上の割合が当庫平均では41.5%と概ね全国平均(42.0%)並みとなっている。



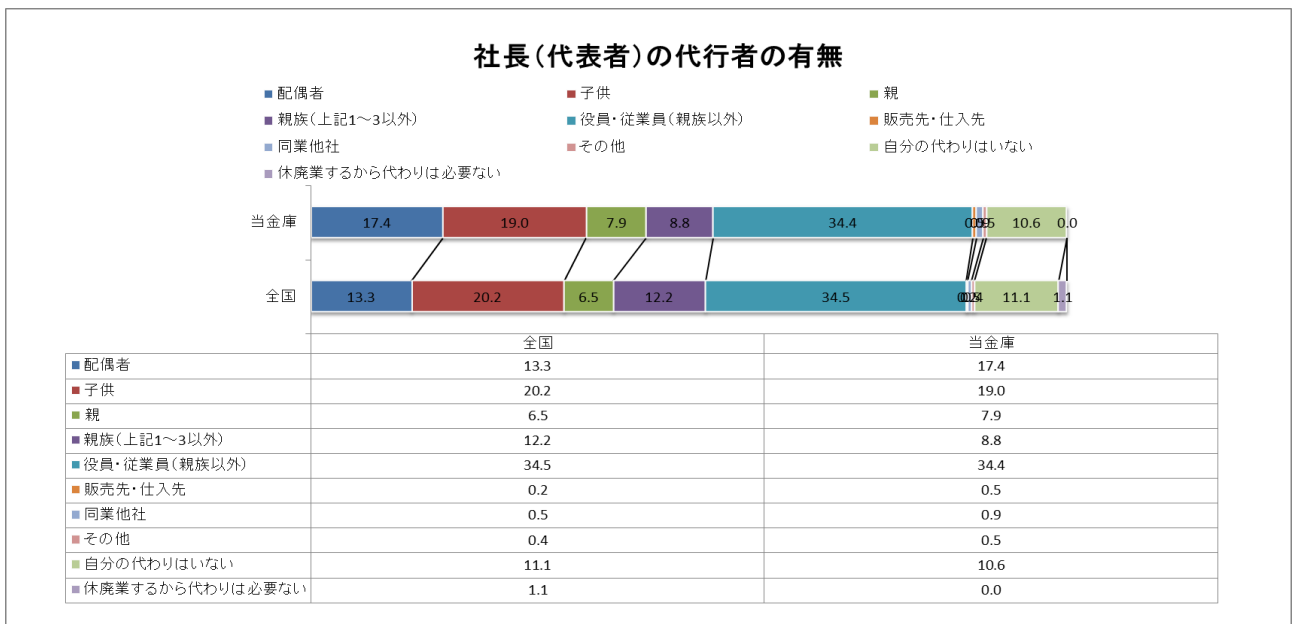
### 【問3】社長休養時の業務継続と機能低下

社長休養時に通常通りの業務が継続できると回答した割合は、当庫平均で26.0%（全国平均28.7%）と全国平均に比べ若干低いが、主要業務に限り継続可能との回答を含めれば、全国平均程度は維持している。また、機能面では、心配していないと回答した割合は、当庫平均は10.7%と全国平均（14.0%）と比べ3.3ポイント少なく、特に資金繰りの悪化等を心配する回答が多い。社長休養時にも通常通りの業務継続が可能となるよう、常日頃からの業務継続、機能維持に向けた社内体制の確立が必要な結果となっている。



### 【問4】社長（代表者）の代行者の有無

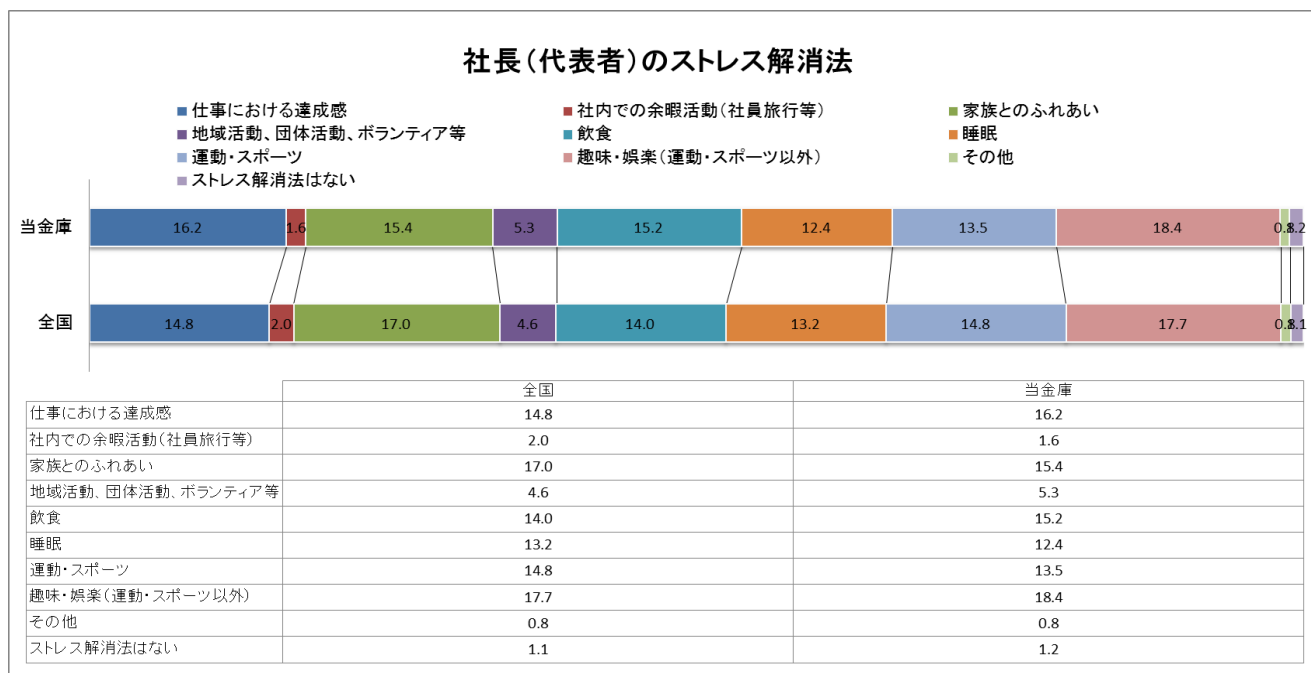
社長の代行者の有無については、当庫平均では代行者を子供と指定した回答が19.0%あり、全国平均（20.2%）と比べても大きく違いはないが、配偶者を代行者とする割合は17.4%と全国平均（13.3%）を4.1%上回る傾向にある。一方、親族（配偶者・子供・親）を代行者とする割合は全国平均（12.2%）と比べ3.4%低い（当庫平均8.8%）結果となっている。





## 【問5】社長（代表者）のストレス解消法

社長（代表者）のストレス解消法は、趣味・娯楽（運動・スポーツ以外）が当庫平均で18.4%と多く、全国平均の17.7%を上回った。次に仕事における達成感(当庫平均16.2%、全国平均14.8%)、飲食(当庫平均15.2%、全国平均14.0%)が多くなっている。他の項目については全国平均と比べ概ね同じような傾向となっている。



以上

### 参考文献

- ・信金中央金庫 地域・中小企業研究所 「第171回全国中小企業景気動向調査」